



はじめに

我が国は地震多発国で、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」をはじめ、たびたび大きな被害が発生しています。

現在の技術では地震予知は困難ですが、常日頃から地震に対する準備をするとともに、「緊急地震速報」を正しく理解し適切に利用することで被害を大きく軽減することができます。

本冊子は、平成30年3月に導入された PLUM 法や令和2年9月から予報業務許可の対象となり、令和5年2月から気象庁からの提供も開始された「長周期地震動」に関する情報を含め、最新の緊急地震速報の仕組みとその利用方法等を解説しています。この冊子の利用をとおして、地震災害の軽減に少しでも役立つことを願ってやみません。

緊急地震速報を活かすための心得

- 1 緊急地震速報を利用して地震による被害軽減に取り組みましょう。
- 2 「緊急地震速報利用の手引き」（本冊子）を活用しましょう。
- 3 気象庁が公開した端末や配信能力の「ガイドライン」に沿った端末や配信を選びましょう。
- 4 いつでもどこでも落ち着いて身の安全を確保できるよう心構えましょう。
- 5 防災設備機器や施設の問題点を確認し、対策を行いましょ
う。
- 6 緊急地震速報を受信した時の行動マニュアルを作りましょう。
- 7 定期的に場面を変えた訓練を行い、毎回少しずつ進化した訓練と
しましょう。
- 8 緊急地震速報の仕組みと技術的限界を理解しましょう。